



令和5年8月25日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

ムーンショット型研究開発事業（ムーンショット目標8、9）における プロジェクトマネージャーの追加決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、ムーンショット型研究開発事業（ムーンショット目標8、9）のプロジェクトマネージャー追加募集における採択者を決定しました。

ムーンショット型研究開発事業は、超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的研究開発を推進すべき分野・領域などとして文部科学省により定められた研究開発構想に基づき、研究開発を推進するものです。ムーンショット目標に関する研究開発全体の責任者であるプログラムディレクター（PD）の下、プロジェクトマネージャー（PM）は、ムーンショット目標達成および研究開発構想実現に至るシナリオの策定、研究開発プロジェクトの設計、研究開発体制の構築、研究開発プロジェクトの実施管理などを行います。提案はムーンショット目標ごとに募集し、PDがアドバイザーなどの協力を得ながら選考しました。

ムーンショット目標8、9では令和4年度より研究開発が進められていますが、各目標の達成のため、既存の研究開発プロジェクトに加えて新たに必要となる研究開発プロジェクトを推進することとしました。研究開発プロジェクトの推進責任者となるPMを追加募集した結果、計31名の応募がありました。募集締め切り後、書類選考と面接選考を実施し、計3名を採択しました。

今後、ムーンショット目標達成に向けて、より効果的・効率的な研究開発となるよう、採択されたPMは、PDの指揮の下でムーンショット目標達成に至るシナリオ、研究開発プロジェクトの詳細計画などの作り込み（提案した研究開発プロジェクトの内容の見直しなど）を行います。その内容が妥当であるとPDに認められたPMは、研究開発プロジェクトの実施が可能となります。

詳細は下記ホームページを参照してください。

<https://www.jst.go.jp/moonshot/index.html>

<添付資料>

別紙1：応募数および採択数

別紙2：プロジェクトマネージャー（PM）・研究開発プロジェクト一覧

別紙3：評価者一覧

参 考：選考の観点

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 ムーンショット型研究開発事業部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町

犬飼 孔（イヌカイ コウ）、古賀 明嗣（コガ アキツグ）

E-mail：moonshot-koubo@jst.go.jp ※電子メールでお問い合わせください。

応募数および採択数

ムーンショット目標名	応募数	採択数
ムーンショット目標 8 2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安心安全な社会を実現（PD：三好 建正）	6	1
ムーンショット目標 9 2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現（PD：熊谷 誠慈）	25	2
合 計	31	3

プロジェクトマネージャー（PM）・研究開発プロジェクト一覧

（五十音順）

ムーンショット目標8「2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安心安全な社会を実現」

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
小槻 峻司	千葉大学 国際高等研究基幹 教授	海上豪雨生成で実現する集中豪雨被害から解放される未来

ムーンショット目標9「2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現」

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
篠田 裕之	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授	子どものこころを支援する触覚パートナー
菱本 明豊	神戸大学 大学院医学研究科 教授	子どもの虐待・自殺ゼロ化社会

※研究開発プロジェクト名は、採択後の作り込み（提案した研究開発プロジェクトの見直しおよび具体化）を経て変更される場合があります。

評価者一覧

ムーンショット目標 8 「2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安心安全な社会を実現」

(敬称略、所属・役職は選考終了時点のもの)

	氏名	所属・役職
プログラムディレクター (PD)	三好 建正	理化学研究所 計算科学研究センター チームリーダー
アドバイザーなど外部有識者	井村 順一	東京工業大学 工学院 教授/理事・副学長
	潮 俊光	南山大学 理工学部 教授
	牛尾 知雄	大阪大学 大学院工学研究科 教授
	大原 美保	東京大学 大学院情報学環 総合防災情報研究センター 教授
	齊藤 和雄	気象業務支援センター 研究推進部 第二研究推進室長
	坂上 貴之	京都大学 大学院理学研究科 教授
	標葉 隆馬	大阪大学 社会技術共創研究センター 准教授
	清水 慎吾	防災科学技術研究所 主任研究員
	水藤 寛	東北大学 材料科学高等研究所 教授
	高橋 暢宏	名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授
	中澤 哲夫	東京大学 大気海洋研究所 学術支援職員
	新野 宏	東京大学 大気海洋研究所 名誉教授

	安田 珠幾	気象庁 総務部 参事官
	山田 道夫	京都大学 数理解析研究所 特任教授
	余田 成男	京都大学 国際高等教育院 副教育院長／特定教授

ムーンショット目標9「2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現」

(敬称略、所属・役職は選考終了時点のもの)

	氏名	所属・役職
プログラムディレクター (PD)	熊谷 誠慈	京都大学 人と社会の未来研究院 准教授
アドバイザーなど外部有識者	井ノ口 馨	富山大学 学術研究部 医学系 卓越教授
	遠藤 薫	学習院大学 名誉教授
	苧阪 直行	京都大学 名誉教授
	櫻井 武	筑波大学 医学医療系 教授
	銅谷 賢治	沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット教授
	永田 智也	D3 合同会社 マネージング・パートナー
	西田 眞也	京都大学 大学院情報学研究科 教授
	林 (高木) 朗子	理化学研究所 脳神経科学研究センター 多階層精神疾患研究チーム チームリーダー
	堀 浩一	人間文化研究機構 理事

三浦 麻子	大阪大学 大学院人間科学研究科 教授
村井 俊哉	京都大学 大学院医学研究科 教授
森田 朗	東京大学 名誉教授
横澤 一彦	筑波学院大学 経営情報学部 教授

選考の観点

選考は、主に以下の観点などにに基づき総合的に実施しました。

【目標 8：コア研究】

① PMとしての資質

- 最先端の研究開発を推進するため、国内外の関連する研究者などの幅広い人的なネットワークや専門的な知識を有すること。
- 最適な研究開発体制を構築し、進捗状況などに応じて機動的に体制を見直すなどのマネジメント力、リーダーシップ力を有すること。

② PMの提案する研究開発プロジェクト

- PMから提案されたプロジェクトの目標や内容（以下「提案内容」という。）が、従来のものと比べ、より大胆な発想に基づくものかつ挑戦的なものであり、将来の産業・社会に大きなインパクトが期待される革新的なものであること。
- 2050年の目標達成に向けて、技術的観点や官民の役割分担を含む社会実装の観点から妥当なシナリオ（成功の仮説）を明確に説明できるものであること。
- 提案内容が国内外を問わずトップレベルの研究開発力や知識、アイデアを結集するものであること。

【目標 9：要素研究】

① PMとしての資質

- 最先端の研究開発を推進するため、国内外の関連する研究者などの幅広い人的なネットワークや専門的な知識を有すること。
- 最適な研究開発体制を構築し、進捗状況などに応じて機動的に体制を見直すなどのマネジメント力、リーダーシップ力を有すること。

② PMの提案する研究開発プロジェクト

- PMから提案されたプロジェクトの目標や内容（以下「提案内容」という。）が、従来のものと比べ、より大胆な発想に基づくものかつ挑戦的なものであり、将来の産業・社会に大きなインパクトが期待される革新的なものであること。
- 提案する研究開発プロジェクトの終了時に達成を目指す成果が、ムーンショット目標全体の主な課題やボトルネックを解消するものであることを明確に説明できること。
- 提案内容が国内外を問わずトップレベルの研究開発力や知識、アイデアを結集するものであること。

以上